

線形代数 I 演習

－ (1) 平面ベクトルの演算, 線形独立・線形従属 －

担当 : 佐藤 弘康

基本問題. 以下のことを確認せよ (定義を述べよ).

- (1) 「ベクトルの線形結合」とは何か.
- (2) 「 \mathbf{R}^2 がベクトル $\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_n$ で張られる」とはどういうことか.
- (3) 「 n 個のベクトル $\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_n$ が線形独立である」とは?
- (4) 「 n 個のベクトル $\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_n$ が線形従属である」とは?
- (5) 「 \mathbf{R}^2 の基底」とは, どのようなベクトルのことか.

問題 1.1. 次のベクトルは線形従属か, 線形独立か調べよ.

- (1) $\begin{pmatrix} 2 \\ 4 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 3 \\ -1 \end{pmatrix}$ (2) $\begin{pmatrix} -1 \\ 2 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 2 \\ -4 \end{pmatrix}$ (3) $\begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix}$
- (4) $\begin{pmatrix} 0 \\ 3 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 3 \\ -1 \end{pmatrix}$

問題 1.2. 平面ベクトルの組 $\begin{pmatrix} 2 \\ 4 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 3 \\ 4 \end{pmatrix}$ は \mathbf{R}^2 の基底か? もし基底ならば, $\begin{pmatrix} 1 \\ 2 \end{pmatrix}$ をそれらの線形結合で表せ.

問題 1.3. \mathbf{a}, \mathbf{b} を線形独立なベクトルとする. このとき,

- (1) \mathbf{a} と \mathbf{b} の線形結合で表されるベクトル $\mathbf{a} + 2\mathbf{b}$ と $3\mathbf{a} + 4\mathbf{b}$ は線形独立であることを示せ.
- (2) \mathbf{a} と \mathbf{b} の線形結合で表されるベクトル $-\mathbf{a} + 2\mathbf{b}$ と $2\mathbf{a} - 4\mathbf{b}$ は線形従属であることを示せ.

問題 1.4. 2つの平面ベクトル $\mathbf{a} = \begin{pmatrix} a_1 \\ a_2 \end{pmatrix}, \mathbf{b} = \begin{pmatrix} b_1 \\ b_2 \end{pmatrix}$ に対し, 「 \mathbf{a}, \mathbf{b} が線形独立であること」と「 $a_1b_2 - a_2b_1 \neq 0$ 」が同値であることを証明せよ.